

第22回南魚沼市子ども・子育て会議議事録

日 時	令和7年3月24日 14:00から14:30
場 所	南魚沼市本庁舎 2階 大会議室
参 加	委 員 12名 事務局 14名（福祉保健部長、教育部長、子育て支援課、保健課、子ども・若者相談支援センター、こども家庭サポートセンター、学校教育課）

議 事

- (1) 令和7年度利用定員について
- (2) 令和7年度保育料月額表について
- (3) 第3期南魚沼市子ども・子育て支援事業計画について

1. 開会（子育て支援課長） 14:00～

2. 挨拶（福祉保健部長）

会議の成立について

◎全委員16名のうち、出席12名

（過半数以上の出席につき、南魚沼市子ども子育て会議条例第6条第2項により成立）

3. 議事

議事(1) 令和7年度利用定員について（事務局より説明）

◎採決の結果、承認 質疑・意見なし

議事(2) 令和7年度保育料月額表について（事務局より説明）

保育料の軽減措置の中で、令和6年度は「生計が同一の最年長の子どもから数えて、3人目以降は保育料を全額免除」としてきましたが、子育て世帯の経済負担軽減のさらなる充実を図り、子育て環境の改善に寄与するため、令和7年度は「全ての児童の保育料を無償化」とします。

◎採決の結果、承認 質疑・意見なし

議事(3) 第3期南魚沼市子ども・子育て支援事業計画について（事務局より説明）

パブリックコメントの募集をおこないましたが、寄せられた意見はありませんでした。新潟県に対して同計画を協議し、令和7年3月13日付で同意の回答をいただいておりますので、ご報告いたします。前回の会議の際にお示しし

た内容に比べ、数値が判明した項目や事業内容が変更になった項目について修正いたしました。

◎採決の結果、承認

意 1 保育の専門家や子育て中の方には馴染みがある言葉でも、その他の人には意味がよくわからない言葉がある。例えば、14ページの「地域子育て支援拠点事業」や「ファミリーサポートセンター事業」など、どんな内容なのか言葉だけではわかりづらい。誰でもわかりやすいように説明が入っているとわかりやすくてよいと思います。それと、障がい児の支援事業に取り組んでいる中で、30ページには専門的な療育環境づくりということで幼児期などの取り組みが記載されているが、小学校に入って学齢期になってから学童保育に該当する部分で、五日町にある共生ふれんどや相談支援センター南魚沼などとの関わりなども次回の計画の際に触れると市の全体の取り組みが見えてくるのではないかと思います。

(滝沢委員)

答 1 14ページの「地域子育て支援拠点事業」や「ファミリーサポートセンター事業」について、事業の内容の説明があった方がよいということで、こちらは今回の事業計画にこれから入れることが可能ですので入れさせていただきます。30ページのところにつきましては、次期計画の際に触れていくことで対応したいと思います。

(事務局上村)

4. その他

報告事項

(1) 保育料・副食費の無償化について

南魚沼市では子育て世帯の経済負担軽減を図り、子育て環境の改善に寄与するため令和7年度から全ての児童の保育料と副食費の無償化をおこないます。ただし、副食費については国の基準額である月額4,800円までの減免といたします。

◎質疑・意見なし

(2) 上町小規模保育園の開設について

上町保育園につきましては、平成19年の設置から指定管理施設として民間園に運営を委託しておりますが、出生数や入園児数の減少により集団生活での体験や、充実した保育の提供が難しい状況がみられていました。また、市内の途中入園の未満児については、保育士の確保ができずに保留になる状況もありましたので、上町保育園については特にそういう状況に対応するため、新たに

小規模保育施設として0～2歳のお子さんを受け入れる施設として設置をするものです。小規模保育園でも事情によっては3～5歳児のお子さんでも継続して入園ができるということになっており、小規模保育園に移行するにあたり在園児に聞き取りをしていただき、転園をするお子さんもいましたが引き続きこの上町の施設に通園したいというお子さんもいました。そういうお子さんにつきましては引き続き、上町小規模保育園で3歳以上のお子さんを受け入れることになります。各地域のニーズに応じてこのような対応ができるという通知の下に、新たな取り組みということで来年度からさせていただくというものであります。

◎質疑・意見なし

(3) 土曜保育実施園の変更について

令和6年度まで、六日町地域の公営保育園では八幡保育園とあおば保育園の2園を拠点園として土曜保育を実施しておりましたが、多くの児童数で土曜保育を実施することが子どもの成長の一助になると考えられることと、保育士のマンパワーの確保の観点から、令和7年度からは六日町地域の公営保育園の土曜保育は八幡保育園の1園でおこないます。また、塩沢地域の公営保育園では、牧之保育園の他に冬期間（12月～3月）のみ上関保育園で土曜保育を実施しておりました。上関保育園は6年度末で閉園いたしますので、令和7年度以降は統合する石打保育園で冬期土曜保育の実施を予定しておりましたが、令和7年度の冬期土曜保育の利用申込を実施した結果、申込者がおりませんでした。このことから、令和7年度から塩沢地域の公営保育園の土曜保育は1年を通して牧之保育園の1園で実施します。

◎質疑・意見なし

(4) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

令和6年度は試行的事業として、金城幼稚園・保育園、めぐみ野こども園、たんぼぼ保育園の3施設で事業を実施いたしました。6年度の利用登録児童数は5名で、総合計利用時間は17時間でした。現状の課題としましては、一時預かり事業との整理が不十分であることや、制度の周知不足があげられ、乳児等通園支援事業によりお子さんが経験できる集団生活の経験と、一時預かり事業との差異化をおこない、積極的な制度周知の必要があると考えます。利用上限時間の短さも課題ではありますが、国の定める上限のため令和7年度も月10時間が上限となります。今後、利用上限が引き上げられることにより、通園制度としての魅力が高まると考えます。

令和7年度においても、6年度と同様の3施設で実施を予定しております。

◎質疑・意見なし

5. 福祉保健部長からの報告

前回の子ども・子育て会議で第3期南魚沼市子ども・子育て支援事業計画についてご意見をいただいた中に、インフルエンザの予防接種助成についてのご意見をいただきました。南魚沼市として令和7年度から13歳未満のお子さんを対象に、1回1,000円で2回までインフルエンザ予防接種の助成を始めます。おたふくについても国が決めている定期接種にはなっていませんが、市が独自に助成を行うということになりました。子育て支援という範囲はかなり広いので、支援事業計画には記載できていない項目もありますが、市としても予算化をして取り組んでいきたいということを付け加えさせて報告いたします。

6. 閉会 14:30